

水道給水装置工事申込書類 様式集

目 次

給水装置工事の主な申込書類……………	1
（様式・記載例）水道給水装置工事申込書……………	2～ 4
（様式・記載例）給水装置工事配管図……………	5～11
（様式・記載例）取出状況図……………	12～15
（様式・記載例）水道使用申込書……………	16～17
（様式・記載例）工事確認書……………	18～19
（様式・記載例）工事施工書（監督用）……………	20～21
（様式・記載例）水理計算確認書……………	22～23
水道給水装置工事申込書類作成チェックシート……………	24～27
工事写真（表紙）……………	28
給水取出し工事写真チェックシート……………	29～30
耐圧試験報告書（表紙）……………	31
耐圧試験写真チェックシート……………	32
自主検査調書……………	33

給水装置工事の主な申込書類について

1. 主な申込書類一式 *宅内改造工事のみの場合は添付不要

本様式集の様式を使用し、記載例、チェックシート等のとおりに作成する。なお、修正液、テープ等での修正は不可とする。

(1) 水道給水装置工事申込書 (A 4 片面印刷)

(2) 給水装置工事配管図 (A 4 片面印刷)

(3) 取出状況図 (平面図・断面図・立面図) (A 4 片面印刷)

(4) 水道使用申込書 (A 4 片面印刷)

(5) 工事確認書 (A 4 片面印刷)

(6) 公図の写し (発行日が半年以内のもの)

※ 登記、測量等の有資格者が転記したものは、資格名・氏名・印・確認日を記載する。

(7) *道路使用許可証の写し

(8) *道路占用、公共物使用等の許可書、許可図面の写し (分水止めを含む。)

(9) *工事施工書 (監督用) (A 4 片面印刷)

※ 別穴で分水止めがある場合は、分水止め用の工事施工書を追加で1部添付する。

(10) 水理計算確認書 (A 4 片面印刷)

※ 以下のいずれかに該当する場合に添付する。

- ① 給水装置工事設計施工基準P 2「水栓数によるメーター口径決定表」のメーター口径より過小のものを使用する場合
- ② 水栓数21栓以上の場合
- ③ 1つの取出し管から複数メーター分岐する場合
- ④ 配水管分岐から末端給水用具までの管長が50mを超える場合
- ⑤ 工場等の施設で多量に水を使用する場合等に添付する。

課長	水道技術 管 理 者	審 査	受 付	合 議	総務課長	料金係長	料金係	水栓番号
								-

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長 年 月 日

(申込者) 住所

フリガナ

氏 名

電 話

私は 次の指定給水装置工事事業者に、給水装置工事の申込手続及び施工に関する一切を委任し、工事を申込みます。なお、給水装置工事の施工にあたっては、伊勢崎市給水条例をはじめとする関係法令等の遵守を徹底します。
また、給水装置工事の申込にあたって、以下の確認事項について誓約・同意いたします。当該給水装置の権利移転をした際は、継承者に本書の事項を遵守させます。

給水装置所在地	部屋番号 区画番号
---------	--------------

工事種別	新設 (mm)	改造 (口径変更 mm→ mm)	その他 ()
------	-----------	------------------	---------

指定給水装置 工事事業者 指定番号 ()	住 所					
	事業者名					
	代 表 者	電話 (代表番号)	-	-		
		F A X 番号	-	-		
	主任技術者	eメール			電話 (担当者)	-

確認事項	(新設・改造の場合) 分岐からメーターまでの管種・口径等の配管情報について公開することに同意します。
	(新設・改造の場合) 今後、宅内改造等を行う際は、必ず指定給水装置工事事業者に依頼することを誓約します。
	(受水槽を設置しない場合) 貯水機能を有していないため、計画的及び緊急の断水時等のやむを得ない場合には、水の使用ができなくなることを承諾し、異議申し立てを行わないことを誓約します。
	(利害関係の同意事項等) 本申込に係る利害関係の事項については、全ての利害関係者より同意等を取得済みです。また、利害関係に関して利害関係人から異議があるときは、申込者の責任において解決します。

給水装置 所 有 者	住 所	土地所有者	住 所
	氏 名	☐ 別添一覧 あり	氏 名

利害関係人

[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 () ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地		[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 () ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地	
	住 所			住 所	
	氏 名			氏 名	

完成予定日	年 月 日	メーター口径 φ mm	給水装置工事申込工事手数料	加入金 (税込)	領 収					
添付書類	その他 ()	開栓日 年 月 日	金額 円	円						
取出状況図	水道使用 申 込 書	工事確認書	出庫日 年 月 日	測定番号 番	番					
公 園 (仮換地図)	道路使用 許 可 証	道路占用等 許 可 書	水道 メ ー タ ー 指 針	No.	課長	水道技術 管 理 者	審査	検査	受付	
道路占用等 図 面	工 事 施 工 書	種別								検査

備考欄	残留塩素 mg/L
	検査日 年 月 日
	判定

課長	水道技術 管 理 者	審査	受付	合 議	総務課長	料金係長	料金係	水栓番号
記入例		新設						-

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市市長

令和 年 月 日

(申込者) 住所 伊勢崎市連取元町 170-3

フリガナ スイドウ イチロウ

氏名 水道 一郎

電 話 - -

私は 次の指定給水装置工事事業者に、給水装置工事の申込手続及び施工に関する一切を委任し、工事を申込みます。なお、給水装置工事の施工にあたっては、伊勢崎市給水条例をはじめとする関係法令等の遵守を徹底します。

また、給水装置工事の申込にあたって、以下の確認事項について誓約・同意いたします。当該給水装置の権利移転をした際は、継承者に本書の事項を遵守させます。

給水装置所在地	伊勢崎市連取元町 170-3			部屋番号 区画番号	A101	
工事種別	✓ 新設 (20 mm)		改造 (口径変更 mm→ mm)	その他 ()		
指定給水装置 工事事業者 指定番号 ()	住 所	伊勢崎市 町 一				
	事業者名	(株)				
	代 表 者	電話 (代表番号)	- -			
		FAX番号	- -			
	主任技術者	eメール	@ ~. ~			
	電話 (担当者)	- -				
確認事項	(新設・改造の場合) 分岐からメーターまでの管種・口径等の配管情報について公開することに同意します。					
	(新設・改造の場合) 今後、宅内改造等を行う際は、必ず指定給水装置工事事業者に依頼することを誓約します。					
	(受水槽を設置しない場合) 貯水機能を有していないため、計画的及び緊急の断水時等のやむを得ない場合には、水の使用ができなくなることを承諾し、異議申し立てを行わないことを誓約します。					
	(利害関係の同意事項等) 本申込に係る利害関係の事項については、全ての利害関係者より同意等を取得済みです。また、利害関係に関して利害関係人から異議があるときは、申込者の責任において解決します。					
給水装置 所 有 者	住 所	伊勢崎市連取元町 170-3		土地所有者	住 所 伊勢崎市連取元町 170-3	
	氏 名	水道 一郎		☐ 別添一覧 あり	氏 名 水道 太郎	

利害関係人

[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 () ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地		[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 () ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地	
	住 所			住 所	
	氏 名			氏 名	

完成予定日	年 月 日	メーター口径 φ mm	給水装置工事申込工事手数料	加入金 (税込)	領 収				
添付書類	その他 ()	開栓日 年 月 日	金額 円	円					
✓ 取出状況図	✓ 水道使用 申 込 書	✓ 工事確認書	出庫日 年 月 日	測定番号 番	番				
✓ 公 園 (仮換地図)	✓ 道路使用 許 可 証	✓ 道路占用等 許 可 書	水道 メー タ ー 指 針	課長	水道技術 管 理 者	審査	検査	受付	
✓ 道路占用等 図	✓ 工 事 施 工 書	No.							
		種別							

備考欄

残留塩素 mg/L	
検査日	年 月 日
判定	

課長	水道技術 管 理 者	審 査	関係	水栓番号
記入例 改造			改造の場合は 既存水栓番号を記入 ※1 申込書につき1 水栓番号	●●●● - ●●●●

水道給水装置工事申込書

(宛先) 伊勢崎市長

令和 ● 年 ● 月 ● 日

(申込者) 住所 伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3

フリガナ スイドウ イチロウ

氏名 水道 一郎

電 話 ●●●● - ●● - ●●●●

私は 次の指定給水装置工事事業者に、給水装置工事の申込手続及び施工に関する一切を委任し、工事を申込みます。なお、給水装置工事の施工にあたっては、伊勢崎市給水条例をはじめとする関係法令等の遵守を徹底します。

また、給水装置工事の申込にあたって、以下の確認事項について誓約・同意いたします。当該給水装置の権利移転をした際は、継承者に本書の事項を遵守させます。

給水装置所在地	伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3			部屋番号 区画番号	
工事種別	新設 (mm)	☒ 改造 (口径変更 mm → 20 mm)	その他 ()		
指定給水装置 工事事業者 指定番号 (●●●)	住 所	伊勢崎市●●町●●-●			
	事業者名	(株) ●●●●			
	代 表 者	電話 (代表番号)	●●●● - ●● - ●●●●		
		F A X 番号	●●●● - ●● - ●●●●		
	主任技術者	eメール	●●●●@~~.~		
	電話 (担当者)	●●●● - ●●●● - ●●●●			
確認事項	(新設・改造の場合) 分岐からメーターまでの管種・口径等の配管情報について公開することに同意します。				
	(新設・改造の場合) 今後、宅内改造等を行う際は、必ず指定給水装置工事事業者に依頼することを誓約します。				
	(受水槽を設置しない場合) 貯水機能を有していないため、計画的及び緊急の断水時等のやむを得ない場合には、水の使用ができなくなることを承諾し、異議申し立てを行わないことを誓約します。				
	(利害関係の同意事項等) 本申込に係る利害関係の事項については、全ての利害関係者より同意等を取得済みです。また、利害関係に関して利害関係人から異議があるときは、申込者の責任において解決します。				
給水装置 所 有 者	住 所	伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3	土地所有者	住 所	伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3
	氏 名	水道 一郎	☐ 別添一覧 あり	氏 名	水道 太郎

利害関係人

[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 (●●●) ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地		[同意種類] 土地・分岐 水栓番号 (●●●) ☐ 別添一覧 あり	対 象 所在地	
	住 所			住 所	
	氏 名			氏 名	

完成予定日	●● 年 ●● 月 ●● 日	メーター口径 φ mm	給水装置工事申込工事手数料	加入金 (税込)	領 収				
添付書類	☒ その他 (受水槽)	開栓日	年 月 日	金額		円			
☒ 取出状況図	☒ 水道使用 申 込 書	☒ 工事確認書	出庫日	年 月 日	測定番号	番			
☒ 公 園 (仮換地図)	道路使用 許 可 証	道路占用等 許 可 書	水道 メー タ ー	No.	課長	水道技術 管 理 者			
道路占用等 図	工 事 施 工 書	種別					審査	検査	受付

備考欄	残留塩素 mg/L
	検査日 年 月 日
	判定

給水装置工事配管図

(☐ 審査 ☐ 竣工)

案内図 (申請地は赤で記入)

水 栓 番 号 -

申 込 者	
給水装置所在地	
指定給水装置 工事事業者	
メーターオフセット	

給水材料 (一次側：公道～メーター)

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓					
離脱付チーズ					
止水栓					
止水栓筐					
止水板					
ポリエチレン管					
ソケット					
メーター用ソケット					
エルボ					
VD管					
フレキシブル継手 (公道)					
フレキシブル継手 (宅内)					
杭またはセーフティマーク					

記入例

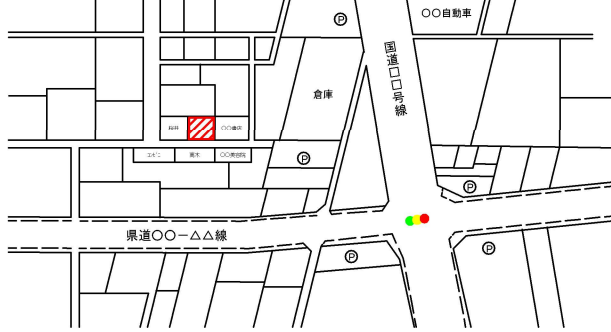
審査

改造の場合は
既存水栓番号を記載

日 第 号

給水装置工事配管図

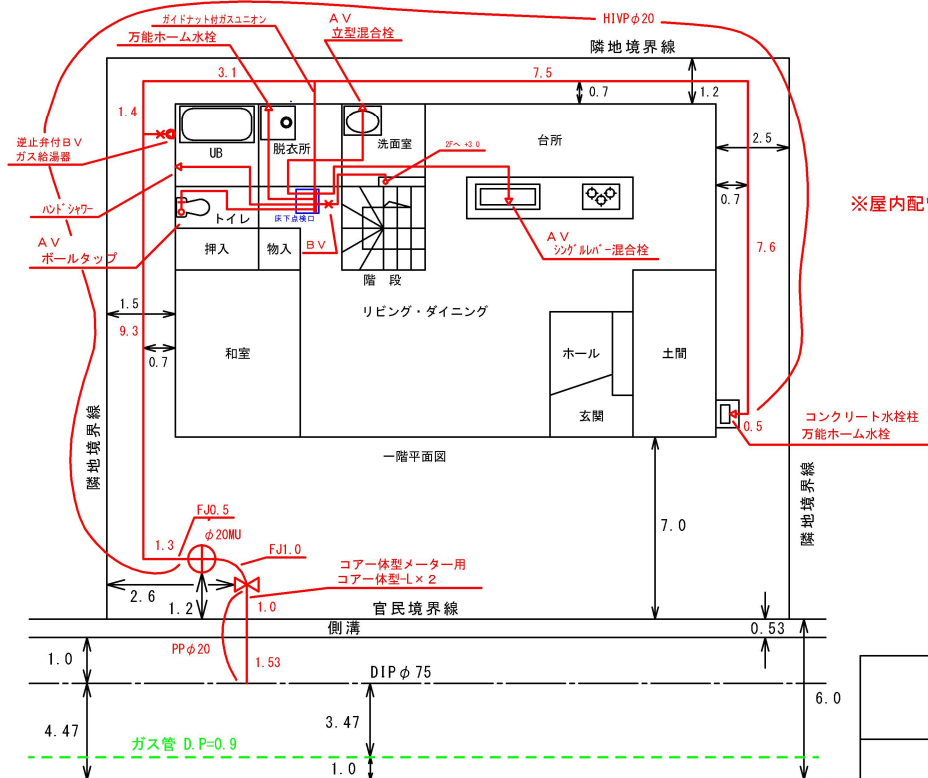
案内図（申請地は赤で記入）



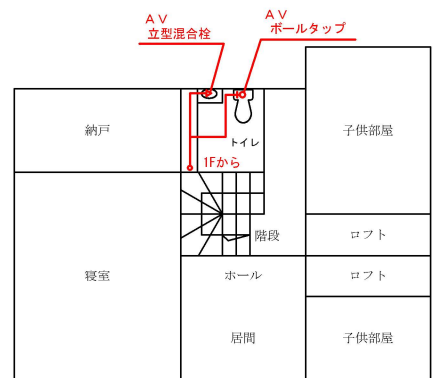
水栓番号 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

申込者 水道 一郎
給水装置所在地 伊勢崎市連取元町 170-3
指定給水装置 (株) ■■■■■
工事事業者
メーターオフセット

竣工で記載する。



※屋内配管はX P E Pを使用する



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓	DIPφ75×20	1	T-25（ネジ筐）		
離脱付チーヅ			T-14（铸铁筐）		
止水栓	20	1	T-8（ホルダーセット）		
止水栓筐	T-8（ホルダーセット）	1			
止水板					
ポリエチレン管	20PP（JIS K 6762）		T-25用		
ソケット			T-14用		
メーター用ソケット	20コア-体型	1			
エルボ	20コア-体型	2			
VD管			PP（JIS K 6762）		
フレキシブル継手（公道）	20×500L	1	HPPE（JIS外径）		
フレキシブル継手（宅内）	20×1000L	1			
杭またはセーフティマーク	水色	1			
密着コア	20	1			

記入例

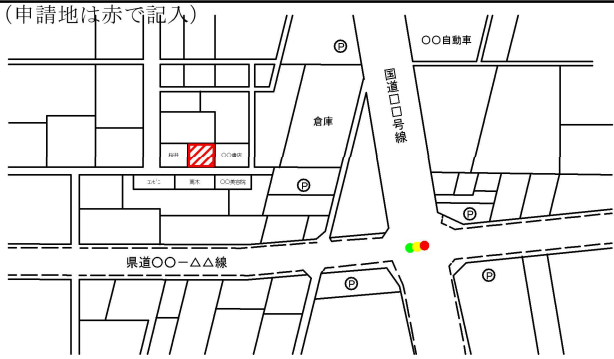
1. 「新設」配水管分岐（戸建て住宅）

受付 年 月 日 第 号

給水装置工事配管図

(☐ 審査 ☒ 竣工)

案内図（申請地は赤で記入）



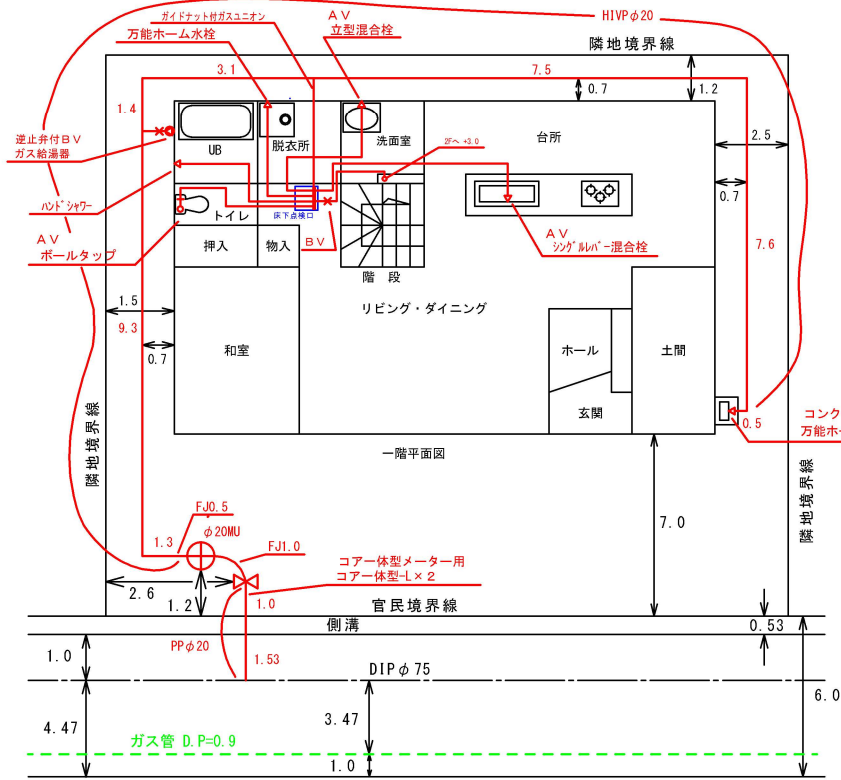
水栓番号 ●●●● - ●●●●

申込者 **水道 一郎**

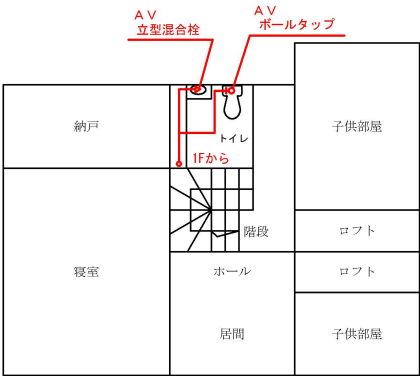
給水装置所在地 **伊勢崎市連取元町 170-3**

指定給水装置工事業者 **(株) ■■■■■**

メーターオフセット



※屋内配管はXPEPを使用する



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓	DIPφ75×20	1			
離脱付チーヅ					
止水栓	20	1			
止水栓筐	T-8（ホルダーセット）	1			
止水板					
ポリエチレン管	20PP（JIS K 6762）				
ソケット					
メーター用ソケット	20コア一体型	1			
エルボ	20コア一体型	2			
VD管					
フレキシブル継手（公道）	20×500L	1			
フレキシブル継手（宅内）	20×1000L	1			
杭またはセーフティマーク	水色	1			
密着コア	20	1			

記入例

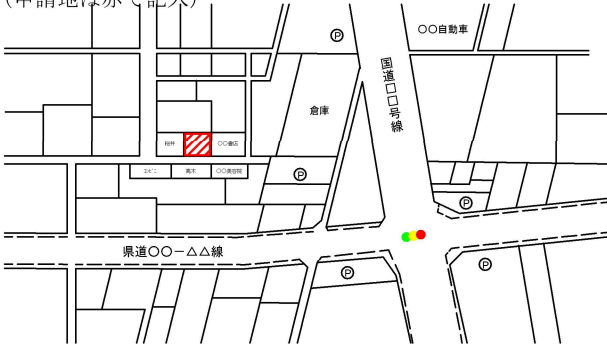
2. 「改造」配水管分岐（戸建て住宅）

受付 年 月 日 第 号

給水装置工事配管図

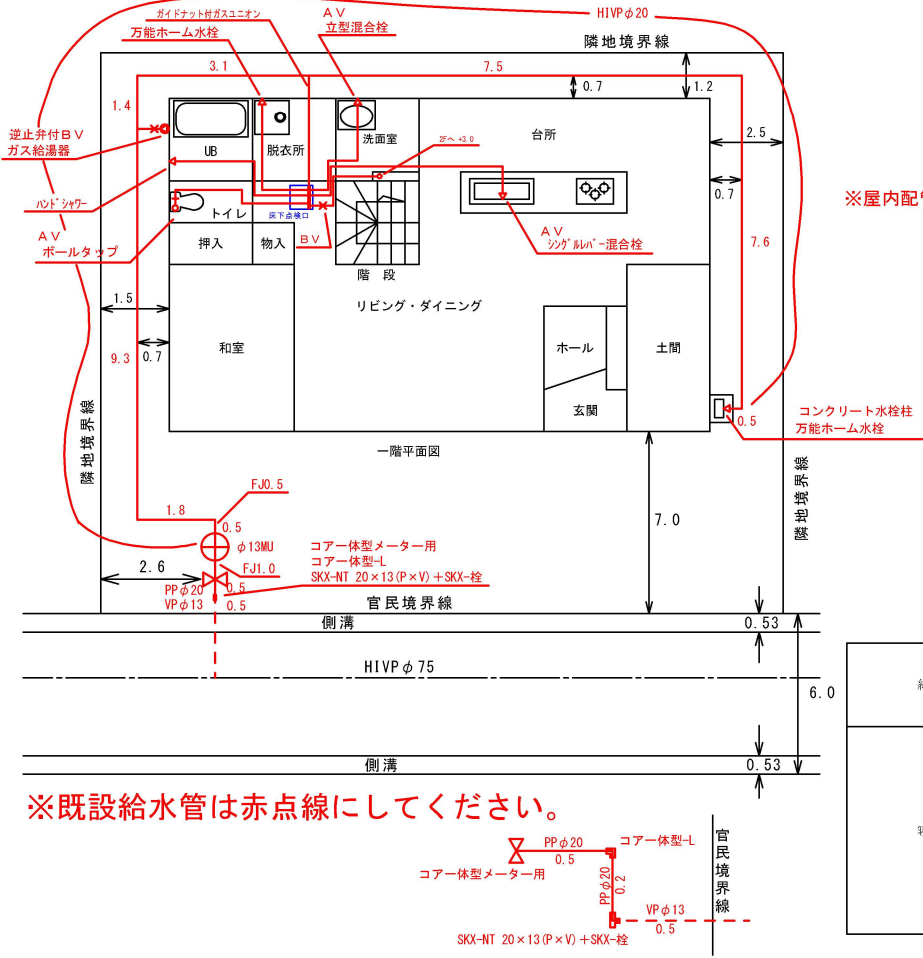
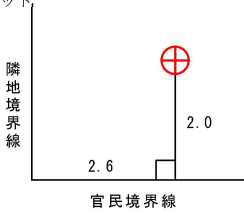
(☐ 審査 ☒ 竣工)

案内図（申請地は赤で記入）

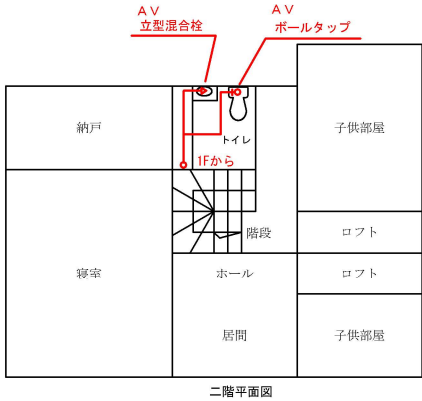


水栓番号 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

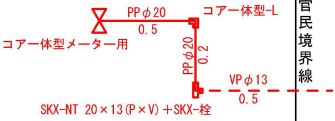
申込者 水道 一郎
給水装置所在地 伊勢崎市連取元町 170-3
工事事業者 (株) ■■■■■
メーターオフセット



※屋内配管はXPEPを使用する



※既設給水管は赤点線にしてください。



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓					
離脱付チーゾ					
止水栓	20	1			
止水栓筐	T-8（ホルダーセット）	1			
止水板					
ポリエチレン管	20PP（JIS K 6762）				
ソケット					
メーター用ソケット	20コア一体型	1			
エルボ	20コア一体型	1			
VD管					
フレキシブル継手（公道）					
フレキシブル継手（宅内）	20×1000L	1			
杭またはセーフティマーク	水色	1			
SKXナット付チーゾ	20×13（P×V）	1			
SKX-栓	20	1			

記入例

3. 連合管分岐（戸建て住宅）

受付 年 月 日 第 号

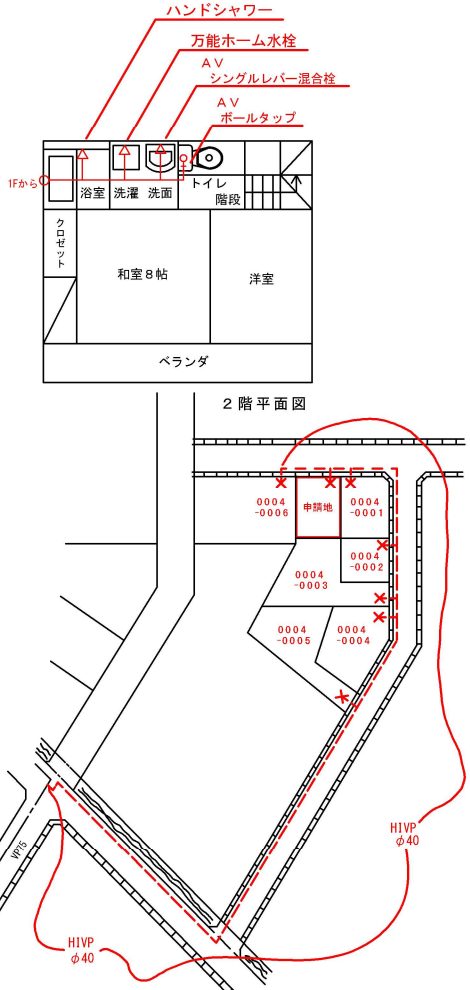
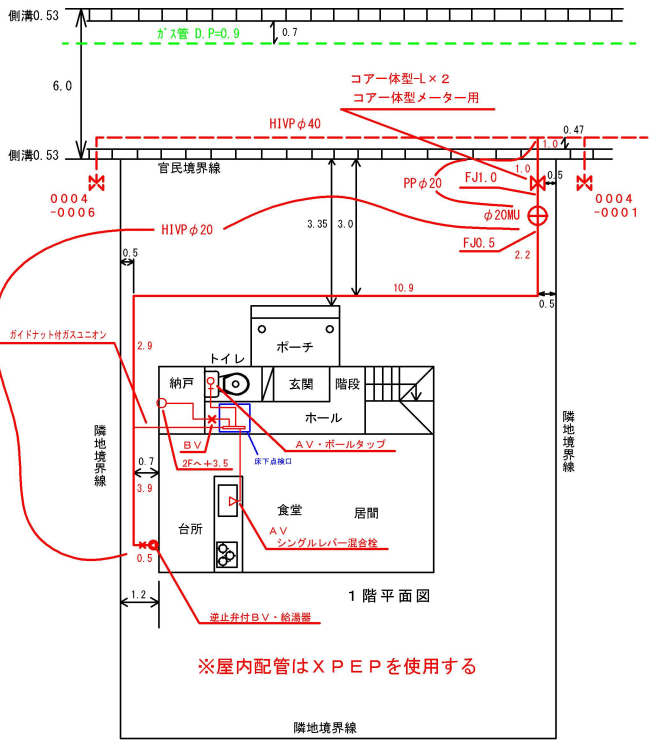
給水装置工事配管図

(☐ 審査 ☒ 竣工)

案内図（申請地は赤で記入）



水栓番号	●●●● - ●●●●
申込者	水道 一郎
給水装置所在地	伊勢崎市連取元町 170-3
指定給水装置	(株) ■■■■■
工事事業者	メーターオフセット
メーターオフセット	官民境界線 2.0 0.5 隣地境界線



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓					
離脱付チーズ	H I V P φ 40 × 20	1			
止水栓	20	1			
止水栓筐	T-8 (ホルダーセット)	1			
止水板					
ポリエチレン管	20PP (JIS K 6762)				
ソケット					
メーター用ソケット	20コア-体型	1			
エルボ	20コア-体型	2			
VD管					
フレキシブル継手 (公道)					
フレキシブル継手 (宅内)	20 × 1000 L	1			
杭またはセーフティマーク	水色	1			

記入例

4. 配水管分岐（集合住宅）親の場合

受付

年

月

日

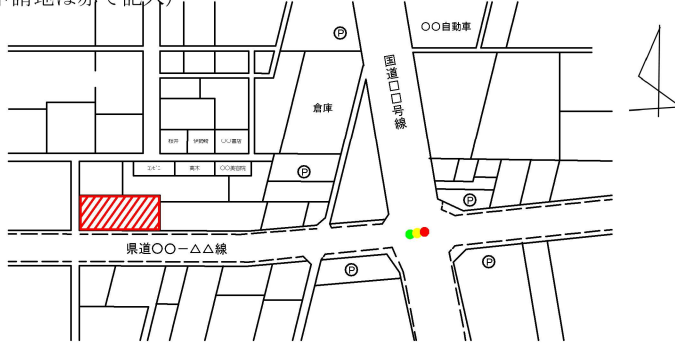
第

号

給水装置工事配管図

(☐ 審査 ☒ 竣工)

案内図（申請地は赤で記入）



水 栓 番 号

●●●● - ●●●●

申 込 者

水道 一郎

給水装置所在地

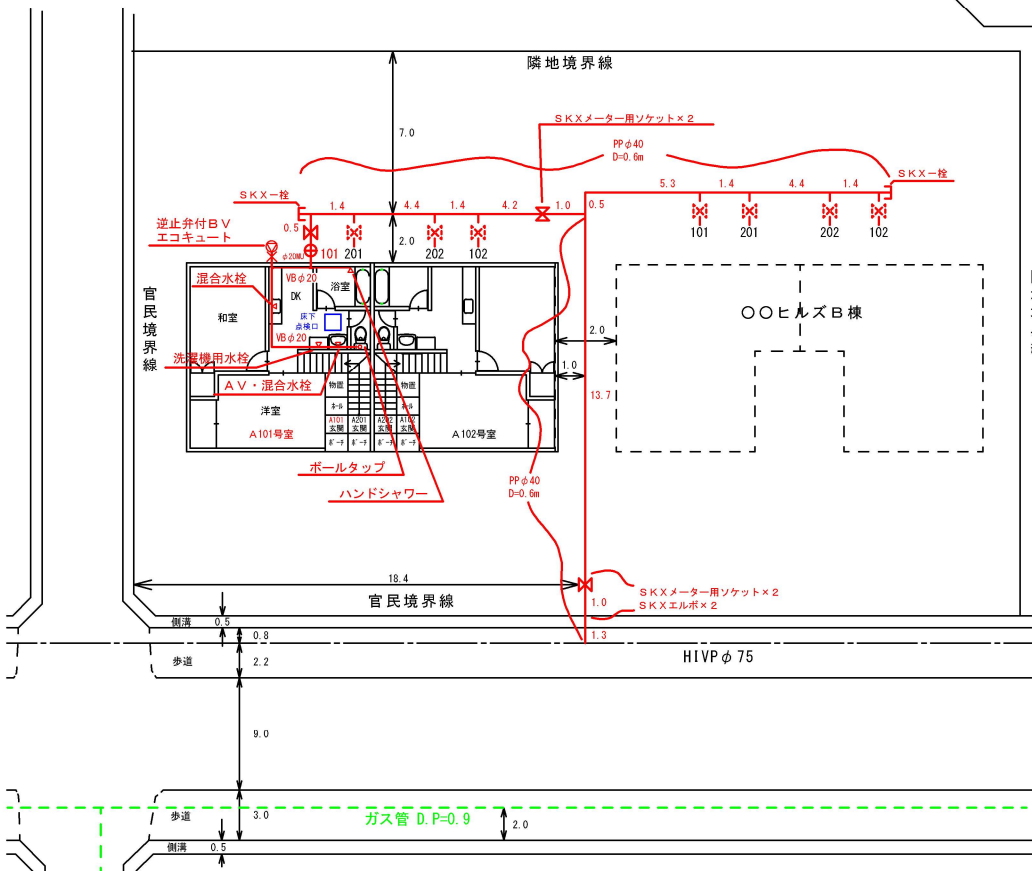
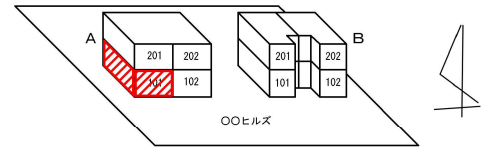
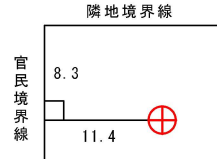
伊勢崎市連取元町 170-3

指定給水装置

(株) ■■■■■

工事業者

メーターオフセット



拡大図



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓	HIVPφ75×40	1			
離脱付チーズ					
止水栓	40	1			
止水栓筐	T-25（ネジ筐）	1			
止水板	T-25用	1			
ポリエチレン管	40PP（JIS K 6762）				
ソケット					
メーター用ソケット	40SKX	1			
エルボ	40SKX	2			
VD管					
フレキシブル継手（公道）	40×1000L	1			
フレキシブル継手（宅内）					
杭またはセーフティマーク	水色	1			

5. 配水管分岐（集合住宅）子の場合

5. 配水管分岐（集合住宅）子の場合

受付

年

月

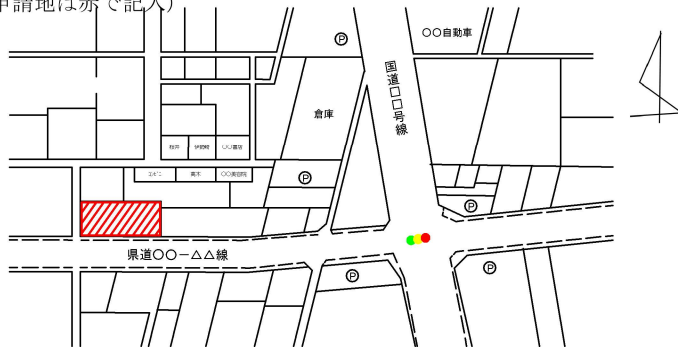
目

第

号

給水装置工事配管図

案内図（申請地は赤で記入）



水 栓 番 号

● ● ● ● — ● ● ● ●

申 込 者

水道 一郎

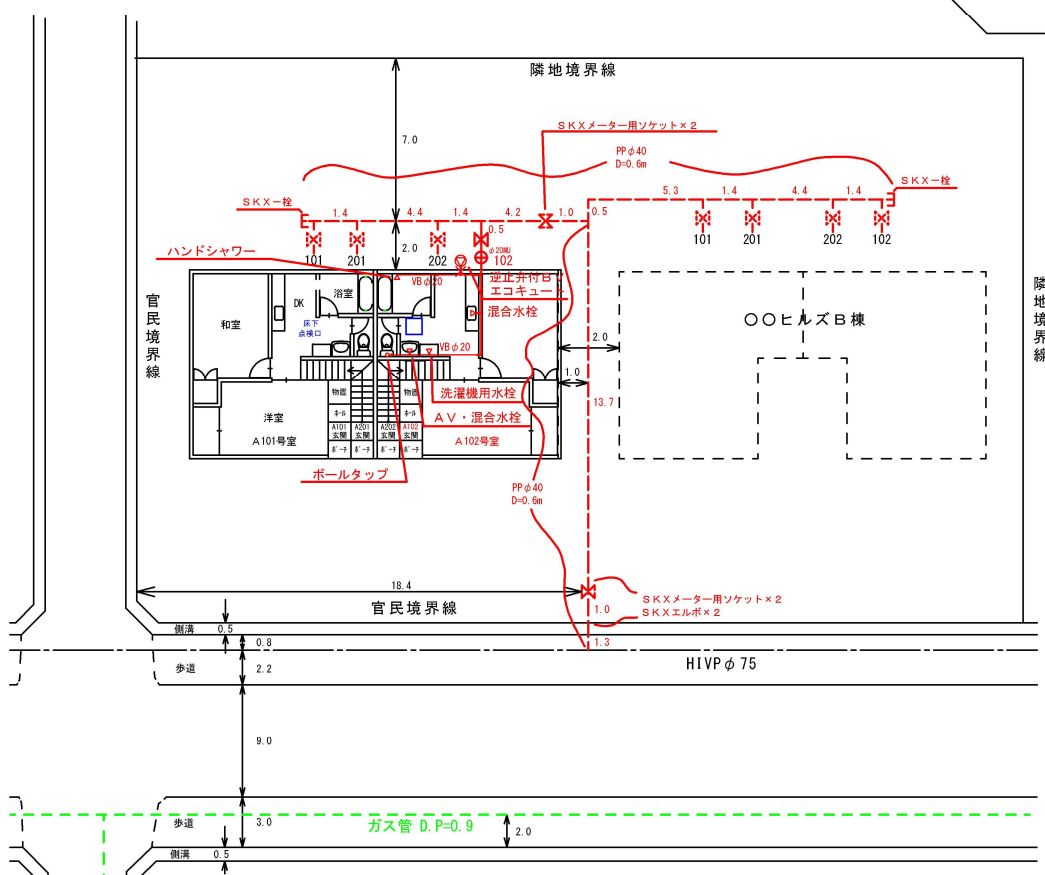
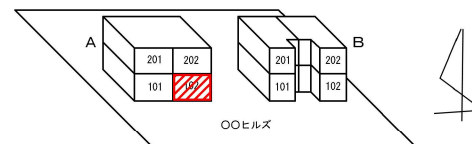
給水装置所在地

伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3

指定給水装置
工事業者表

(株) ■■■■

メーターオフセ



扩大图



給水材料（一次側：公道～メーター）

名 称	形 状	数 量	名 称	形 状	数 量
ボール式サドル分水栓					
離脱付チーズ					
止水栓					
止水栓筐					
止水板					
ポリエチレン管					
ソケット					
メーター用ソケット					
エルボ					
VD管					
フレキシブル継手（公道）					
フレキシブル継手（宅内）					
杭またはセーフティーマーク					

取出状況図

☐ 審査
 ☐ 出来形

残留塩素検出量
 mg/L
 年
 月
 日

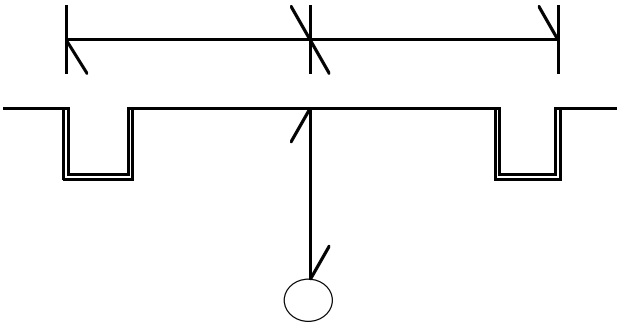
水 栓 番 号	-
申 込 者	
給水装置所在地	
指定給水装置 工事事業者	

(平面図)



(立面図)

(断面図)



記入例

1. 公道工事

受付

年

月

日

第

号

取出状況図

(☐ 審査 ☐ 出来形)

残留塩素検出量 0.3 mg/L

令和 年 月 日

↑ 工事施工後に記入

水 栓 番 号

●●●● - ●●●●

申 込 者

水道 一郎

給水装置所在地

伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3

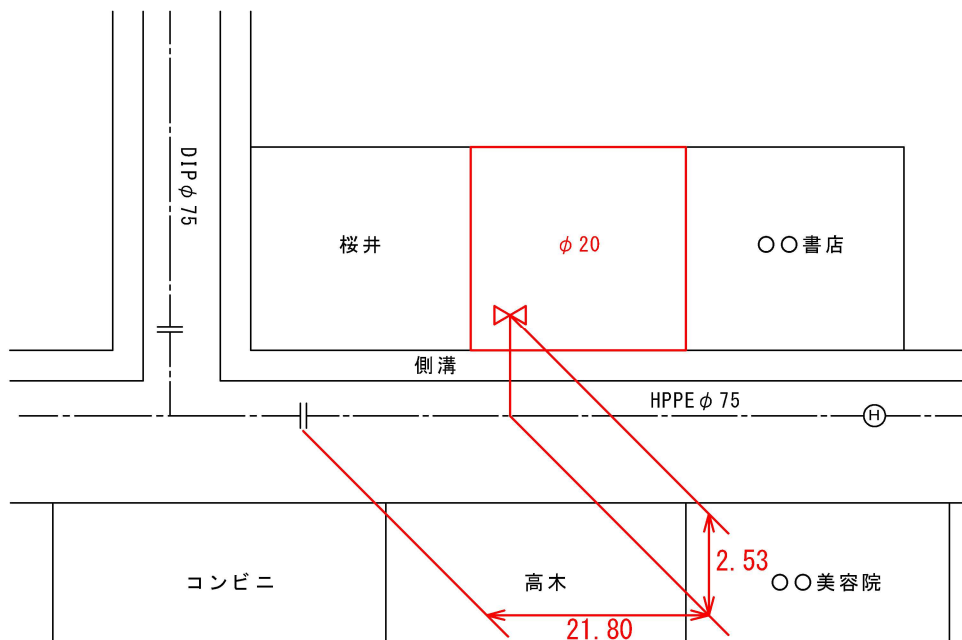
指定給水装置

(株) ■■■■

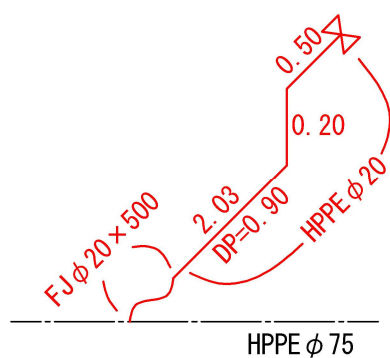
工事事業者

(株) ■■■■

(平面図)



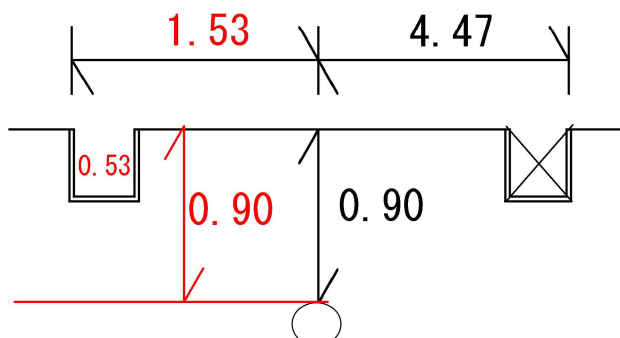
(立面図)



※事前に現場確認し、
平面図・立面図・断面図に
予定の数値を記入する。

※工事施工後、出来形の
数値に修正した
取出状況図を提出する。

(断面図)



記入例

2. 宅内工事

受付

年

月

日

第

号

取出状況図

(☐ 審査 ☐ 出来形)

残留塩素検出量 mg/L

年 月 日

水 栓 番 号

●●●● - ●●●●

申 込 者

水道 一郎

給水装置所在地

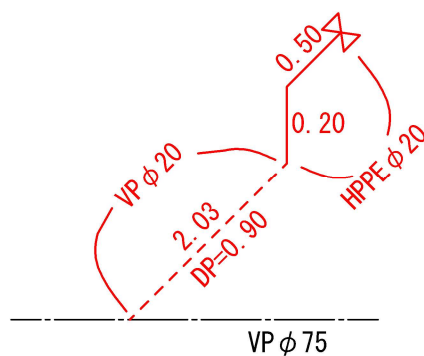
伊勢崎市連取元町 1 7 0 - 3

指定給水装置
工事事業者

(株) ■■■■

(平面図)

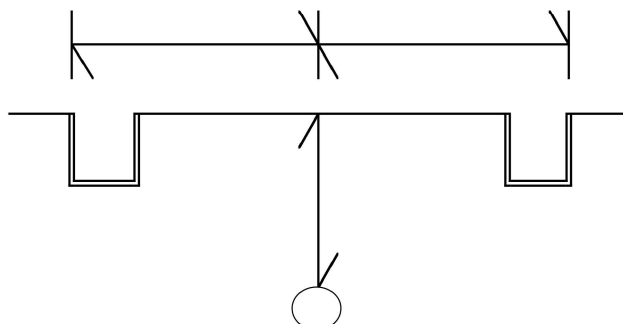
(立面図)



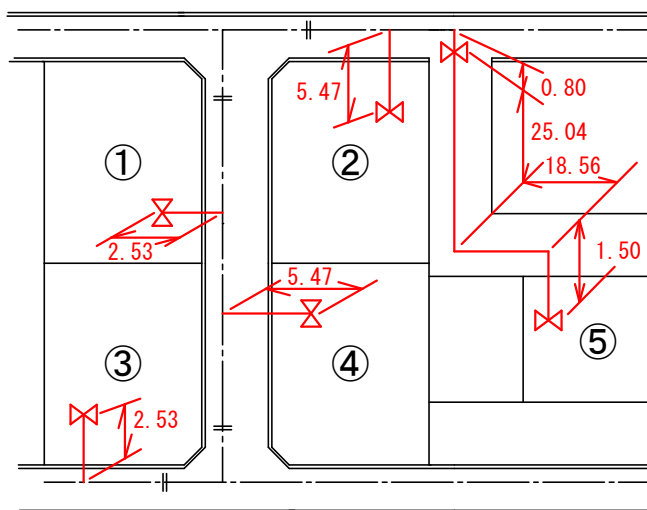
※事前に現場確認し、
立面図に予定の数値を
記入する。

※竣工後、出来形の
数値に修正した
取出状況図を提出する。

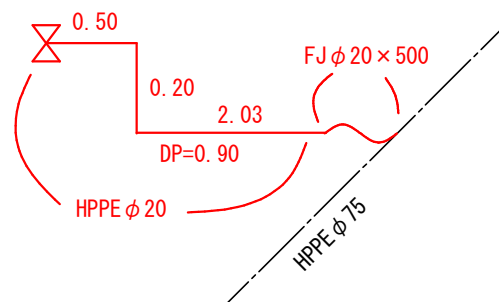
(断面図)



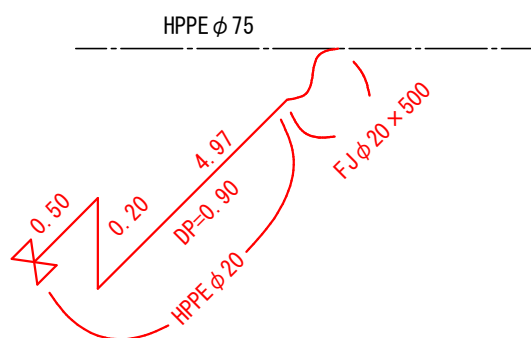
※ 立面図記入例



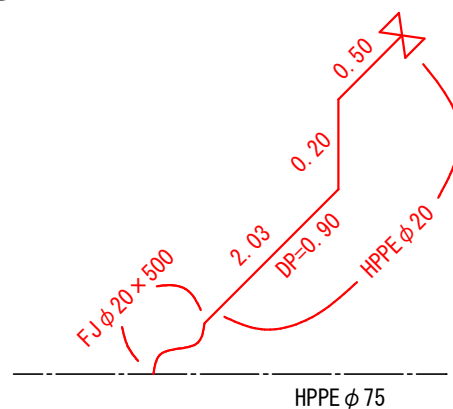
①の場合



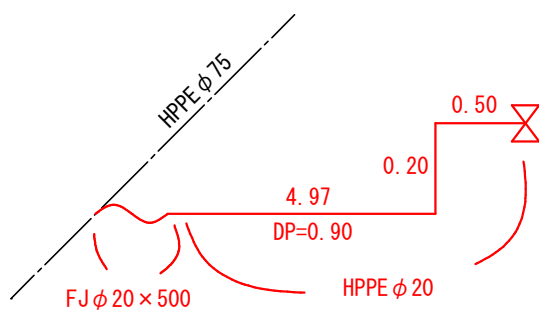
②の場合



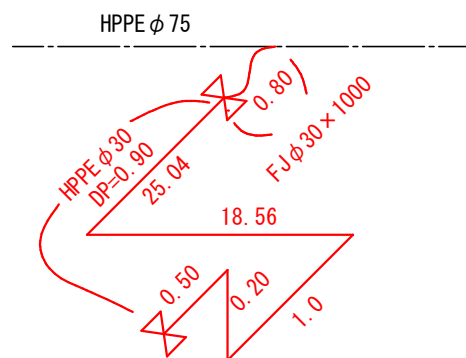
③の場合



④の場合



⑤の場合



注意事項

- 切り管延長でなく、つないだ管の芯までの寸法を記入。
- 一次側が長い場合、給水管深さ（例 DP=0.90等）も立面図に記入。

水道使用申込書

(宛先)伊勢崎市長

記入日	年	月	日
-----	---	---	---

水栓情報

水栓番号					—				
水栓所在地	〒								

水道使用者 **※該当区分にチェックを入れて、住所・氏名等を記入**

区分	☐ 一般使用者 ☐ 工事期間中の使用者		
住所	〒		
フリガナ 氏名			
電話	() —	携帯電話	() —

注) 一般使用者とは、今後継続して水道を使用する方を言います。

書類（納付書等）の送付先 **※該当区分にチェックを入れて、その他の場合は送付先住所を記入**

区分	☐ 水栓所在地 ☐ 水道使用者の住所 ☐ その他（下記のとおり）
その他住所	〒

上記のとおり、水道を使用したいので申し込みます。

1 水道料金の納付及び給水装置については、伊勢崎市給水条例及び伊勢崎市給水条例施行規程を遵守します。

また、これに違反したときは、その処分に従い、異議の申立てはいたしません。

2 検針及び漏水調査並びに修繕のため、宅地内に立ち入ることを同意します。

3 工事期間中の水道使用者は、工事終了後、責任を持って休止の手続きを行います。

.....
(上下水道局 記入欄)

メーター出庫日： 年 月 日 使用開始日： 年 月 日 メーター出庫者：

水道使用申込書

記入日	令和 ● 年 ● 月 ● 日
-----	----------------

水栓情報

水栓番号					—				
水栓所在地	〒 ●●●●—●●●● 伊勢崎市連取元町 1 7 0—3								

改造の場合は
既存水栓番号を記載

水道使用者 ※該当区分にチェックを入れて、住所・氏名等を記入

区分	☐ 一般使用者 ☒ 工事期間中の使用者		
住所	〒 ●●●●—●●●● 伊勢崎市●●町●●一●		
フリガナ 氏名	カ) ●●●●●●●● ダイヒョウトリシマリヤク ●●●● ●●●● (株) ●●●● 代表取締役 ●● ●●		
電話	(●●●●) ●● - ●●●●	携帯電話	() -

注) 一般使用者とは、今後継続して水道を使用する方を言います。

書類（納付書等）の送付先 ※該当区分にチェックを入れて、その他の場合は送付先住所を記入

区分	☐ 水栓所在地 ☒ 水道使用者の住所 ☐ その他（下記のとおり）
その他住所	〒

上記のとおり、水道を使用したいので申し込みます。

- 水道料金の納付及び給水装置については、伊勢崎市給水条例及び伊勢崎市給水条例施行規程を遵守します。
また、これに違反したときは、その処分に従い、異議の申立てはいたしません。
- 検針及び漏水調査並びに修繕のため、宅地内に立ち入ることを同意します。
- 工事期間中の水道使用者は、工事終了後、責任を持って休止の手続きを行います。

(上下水道局 記入欄)

メーター出庫日： 年 月 日 使用開始日： 年 月 日 メーター出庫者：

工事確認書

※該当する項目について記入してください

申込者氏名		指定工事事業者名	
給水装置所在地			
項 目	内 容		
給水する建物	☐ 建物種類 新築建物 ・ 既存建物 ・ 建物なし(一栓のみ) ☐ 使用目的・用途 専用住宅 ・ 共同住宅 ・ その他(用途等: _____) ☐ 自家水使用 あり ・ なし ※一栓の場合は、予定建物等も記入する。 ☐ 受水槽 あり ・ なし		
既存水栓番号	☐ 既存水栓番号 使用する(水栓番号: _____) ・ なし ・ 廃止する(水栓番号: _____) ※複数廃止する場合は全て記入する。(廃止届を添付する。)		
既設乙止水栓	☐ 既設乙止水栓 使用する(以下記入) ・ 使用しない(新設する) ※使用する場合、位置・材料が基準に適合するように計画する。 ☐ 既設乙止水栓の位置(オフセット)・深さ ※移設する場合は、移設予定位置・深さを記入する。 上流側の境界から(____)m、 左右の境界の近い方から(____)m、 深さ(____)m ☐ 既設乙止水栓筐の種類 ネジ筐 ・ 鋳鉄製 ・ ホルダーセット ・ その他 ☐ 既設乙止水栓筐の設置位置に車両が(物理的に)進入 できる ・ できない ☐ 既設乙止水栓の種類 平行おねじ ・ その他 ※その他の場合は、水道局が承認している止水栓筐、平行おねじの止水栓に交換する。		
配管計画	☐ 土地利用計画図等の合わせ図を確認 した ・ していない ☐ 乙止水栓筐の新設位置に車両が(物理的に)進入 できる ・ できない ☐ 給水管の近くに既設又は新設予定の下水の管・柵、電柱、雨水柵等の構造物 あり(種類: 下水の管及び柵 ・ 電柱 ・ 雨水柵 ・ その他「_____」) ・ なし ☐ 給水管と(有効で)0.3m以上の離隔 あり ・ なし ※検査時に離隔が確保できていない場合、是正指導することを説明する。		
境界	☐ 乙止水栓・メーターの設置位置付近の境界を判断するための指標とした杭や構造物等の種類 境界杭 ・ 側溝 ・ 仮杭 ・ その他(_____) ※その他(建築図面等)の場合は、その図面等の写しを添付する。		
公道工事	☐ 公道工事 あり(以下記入) ・ なし(取出し済) ☐ 道路の状況 舗装 ・ 砂利 ☐ 舗装本復旧 本工事(施工業者: _____) ・ その他(_____工事) で施工 ☐ 道路側溝等 あり(種類: 側溝 ・ 水路 ・ その他「_____」) ・ なし ☐ 他埋設物 あり(下水 ・ ガス ・ 電気 ・ 電話 ・ その他「_____」) ・ なし ※埋設物がある場合は口径、布設位置(離れ、深さ)を配管図に記入する。 ☐ 取出し予定位置から(有効で)0.3m以内に他の給水、他埋設物の管 あり ・ なし ☐ 同一の掘削穴に他の給水、他埋設物の管の布設、分水止の施工 する(工事の種類: _____ 工事、区画等: _____) ・ しない		
公共工事の場合	☐ 公共工事名: _____		
臨時用料金適用工事の場合	☐ 使用期間(見込み): _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日 ☐ 終了後の処理 分水止 ・ 別申込で取出し管使用 ・ メーター撤去		

記入例

工事確認書

※該当する項目について記入してください

申込者氏名	●●●●●	指定工事業業者名	(株)●●●●●
給水装置所在地	伊勢崎市連取元町170-3 区画A		
項 目	内 容		
給水する建物	☐ 建物種類 新築建物 ・ 既存建物 ・ 建物なし(一栓のみ) ☐ 使用目的・用途 専用住宅 ・ 共同住宅 ・ その他(用途等: _____) ☐ 自家水使用 あり ・ なし ※一栓の場合は、予定建物等も記入する。 ☐ 受水槽 あり ・ なし		
既存水栓番号	☐ 既存水栓番号 使用する(水栓番号: _____) ・ なし ・ 廃止する(水栓番号: _____) ※複数廃止する場合は全て記入する。(廃止届を添付する。)		
既設乙止水栓	☐ 既設乙止水栓 使用する(以下記入) ・ 使用しない(新設する) ※使用する場合、位置・材料が基準に適合するように計画する。 ☐ 既設乙止水栓の位置(オフセット)・深さ ※移設する場合は、移設予定位置・深さを記入する。 上流側の境界から(____)m、左右の境界の近い方から(____)m、深さ(____)m ☐ 既設乙止水栓の種類 ネジ筐 ・ 鋳鉄製 ・ ホルダーセット ・ その他 ☐ 既設乙止水栓筐の設置位置に車両が(物理的に)進入 できる ・ できない ☐ 既設乙止水栓の種類 平行おねじ ・ その他 ※その他の場合は、水道局が承認している止水栓筐、平行おねじの止水栓に交換する。		
配管計画	☐ 土地利用計画図等の合わせ図を確認 した ・ していない ☐ 乙止水栓筐の新設位置に車両が(物理的に)進入 できる ・ できない ☐ 給水管の近くに既設又は新設予定の下水の管・柵、電柱、雨水柵等の構造物 あり (種類: 下水の管及び柵 ・ 電柱 ・ 雨水柵 ・ その他「_____」) ・ なし ☐ 給水管と(有効で)0.3m以上の離隔 あり ・ なし ※検査時に離隔が確保できていない場合、是正指導することを説明する。		
境界	☐ 乙止水栓・メーターの設置位置付近の境界を判断するための指標とした杭や構造物等の種類 境界杭 ・ 側溝 ・ 仮杭 ・ その他(_____) ※その他(建築図面等)の場合は、その図面等の写しを添付する。		
公道工事	☐ 公道工事 あり(以下記入) ・ なし(取出し済) ☐ 道路の状況 舗装 ・ 砂利 ☐ 舗装本復旧 本工事 (施工業者: (株)●●●●●) ・ その他(_____工事)で施工 ☐ 道路側溝等 あり (種類: 側溝 ・ 水路 ・ その他「_____」) ・ なし ☐ 他埋設物 あり (下水 ・ ガス ・ 電気 ・ 電話 ・ その他「_____」) ・ なし ※埋設物がある場合は口径、布設位置(離れ、深さ)を配管図に記入する。 ☐ 取出し予定位置から(有効で)0.3m以内に他の給水、他埋設物の管 あり ・ なし ☐ 同一の掘削穴に他の給水、他埋設物の管の布設、分水止の施工 する (工事の種類: 下水道 工事、区画等: _____) ・ しない		
公共工事の場合	☐ 公共工事名: _____		
臨時用料金適用工事の場合	☐ 使用期間(見込み): _____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日 ☐ 終了後の処理 分水止 ・ 別申込で取出し管使用 ・ メーター撤去		

工事施工書（監督用）

※施工予定日(入金後に記入)
年 月 日

水 栓 番 号	
-	
申 込 者	
給水装置所在地	
指定給水装置 工事事業者	

(平面図)



(案内図)



記入例

工事施工書（監督用）

※施工予定日（入金後に記入）

年 月 日

水 栓 番 号

●●●● - ●●●●

申 込 者

水道 一郎

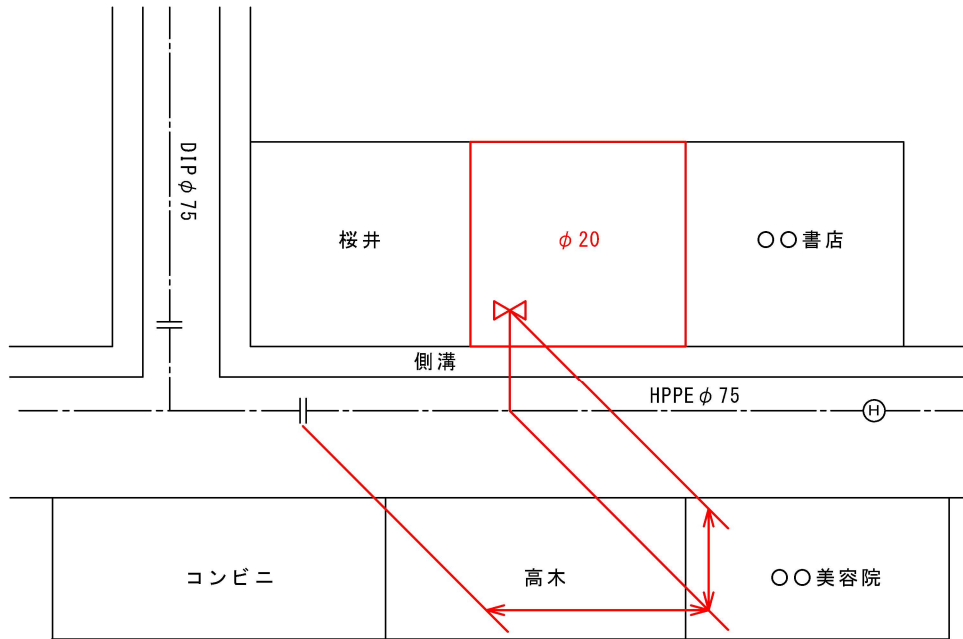
給水装置所在地

伊勢崎市連取元町 170-3

指定給水装置
工事事業者

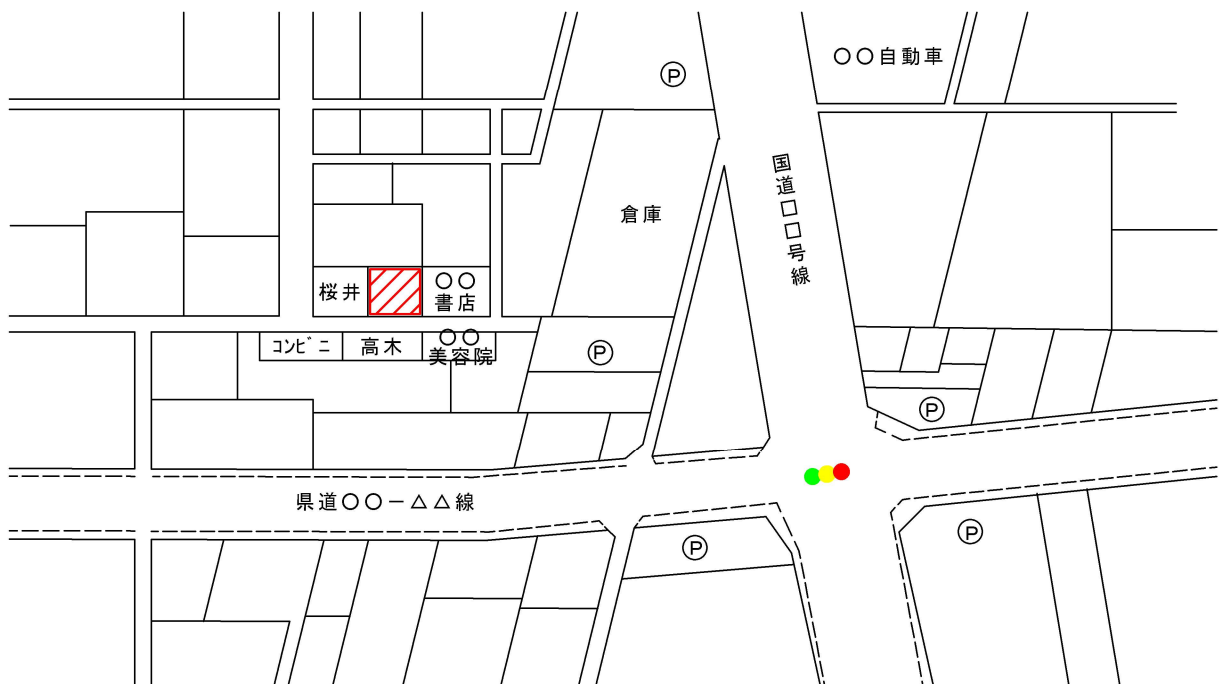
(株) ■■■■■

（平面図）



※数値は記入しない

（案内図）



水 理 計 算 確 認 書

工 事 場 所	伊勢崎市	
部屋番号・区画番号		
給水装置工事申込者		
給 水 方 式	☐ 直結直圧式 ()、 ☐ _____ ()	
計画同時使用水量 (ℓ/min)		ℓ/min
計画1日使用水量 (m ³ /日)		m ³ /日
A	計画最小動水圧 注)	MPa
B	直結加圧形ポンプユニットの全揚程	MPa
C	給水装置の総所要水圧 ※高さによる損失を含む。	MPa
D	末端水栓の余裕水圧 $D = A + B - C$	MPa

注) 調査で給水水圧 0.25MPa 以上区域に該当する場合の給水水圧は 0.25MPa とする。

上記のとおり、水理計算により支障なく給水が可能であることを確認しましたので、本確認書を提出します。	
水理計算確認者 (給水装置工事主任技術者)	免状交付番号 第 号 氏 名
指定給水装置工事事業者	指定番号 第 号 事業者名 代表者 電話番号
水量、水圧等が不足した場合は上下水道局に対して一切異議申し立てをいたしません。また、実際の使用水量がメーターの使用流量基準に適さない場合は上下水道局の指示を受け、必要に応じて給水管の取出し直しを行い、適正なメーター口径に変更いたします。	
給水装置工事申込者 (自署) ※法人の場合は登記されている代表者印を押印	記入日 年 月 日 住 所 氏 名

記入例

水 理 計 算 確 認 書

工 事 場 所	伊勢崎市連取元町170-3	
部屋番号・区画番号	A201	
給水装置工事申込者	水道 一郎	
給 水 方 式	☒ 直結直圧式 (2階)、 ☐ _____ ()	
計画同時使用水量 (ℓ/min)		25.0 ℓ/min
計画1日使用水量 (m³/日)		0.5 m³/日
A	計画最小動水圧 注)	0.20 MPa
B	直結加圧形ポンプユニットの全揚程	MPa
C	給水装置の総所要水圧 ※高さによる損失を含む。	0.12 MPa
D	末端水栓の余裕水圧 $D = A + B - C$	0.08 MPa

注) 調査で給水水圧 0.25MPa 以上区域に該当する場合の給水水圧は 0.25MPa とする。

上記のとおり、水理計算により支障なく給水が可能であることを確認しましたので、本確認書を提出します。	
水理計算確認者 (給水装置工事主任技術者)	免状交付番号 第■■■■■■■号 氏 名 ■■ ■■
指定給水装置工事事業者	指定番号 第■■■号 事業者名 (株) ■■■■ 代表者 代表取締役 ■■ ■■ 電話番号 ■■■■-■■-■■■■
水量、水圧等が不足した場合は上下水道局に対して一切異議申し立てをいたしません。また、実際の使用水量がメーターの使用流量基準に適さない場合は上下水道局の指示を受け、必要に応じて給水管の取出し直しを行い、適正なメーター口径に変更いたします。	
給水装置工事申込者 (自署) ※法人の場合は登記されている代表者印を押印	記入日 令和7年 10 月 1 日 住 所 伊勢崎市連取元町170-3 氏 名 水道 太郎 長男 水道一郎が本人確認のうえ代筆

水道給水装置工事申込書類作成チェックシート

✓	No.	確認内容
		必要書類が添付されていない、申請書に必要事項の記載がない場合には、審査ができないため、添付・記入されてから5営業日審査に必要となる場合がありますのでご承知おきください。
		チェックシートの添付は不要です。
		(1) 水道給水装置工事申込書
		訂正は二重線で行う。(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	1.	水栓番号を記入(※改造のみ)
☐	2.	申込日を記入
☐	3.	申込者欄に住所・フリガナ・氏名・電話番号を記入
☐	4.	給水装置所在地欄に申請地の町名、地番を記入 (※地番が複数ある場合は全て記入) (※区画整理地内の場合は従前地と仮換地を記入)
☐	5.	部屋番号・区画番号を記入(※集合住宅・貸店舗・分譲地のみ)
☐	6.	工事種別に✓し、メーター口径を記入
☐	7.	指定給水装置工事業者の指定番号・住所・事業者名・代表者名・主任技術者名・電話番号(代表番号)・FAX番号・eメール・電話番号(担当者)を記入
☐	8.	給水装置所有者欄に住所、氏名を記入
☐	9.	土地所有者欄に住所、氏名を記入
☐	10.	利害関係人欄 ①給水装置所在地以外の民地に給水管を埋設する場合は、土地を○、対象所在地・住所・氏名を記入 ②給水管から分岐同意を得て分岐する場合は、分岐を○、水栓番号・住所・氏名を記入
☐	11.	完成予定日を記入
☐	12.	添付書類に✓
		備考欄(該当する場合は記入)
☐	13.	(権利廃止がある場合)「●●●●-●●●●は廃止。」
☐	14.	(権利合算がある場合)「●●●●-●●●●、▲▲▲▲-▲▲▲▲のφ■■mm■件分を合算し、(差額■■,000円を加え)φ■■mmに口径変更。合算に伴い▲▲▲▲-▲▲▲▲は廃止。」
☐	15.	(2つの建物に給水していたが、分筆してメーターを分ける場合)「元々●●●●-●●●●から給水していたが切離し、公道分新設として新たに取出す。」
☐	16.	(申請地内に入っていた別の土地への給水管を使用する場合)「元々●●●●-●●●●で使っていた給水管が本申請地内に引込まれていたため、分水止めせず公道分新設(取出し済)として使用する。●●●●-●●●●は別申請で公道分改造として新たに取出す。」
☐	17.	(工事用メーターを使用する場合)「臨時用料金適用工事(工事確認書のとおり)」
☐	18.	(工事用メーターで使っていた給水管を使用する場合)「工事用で使っていた給水管●●●●-●●●●を分水止めせず、公道分新設(取出し済)として使用する。」
☐	19.	(自家水で使っていた管を使用する場合)「既存管は耐圧試験を実施し、利用可能なことを確認済。」
☐	20.	(専用住宅以外の建物に給水する場合)建物用途(例)「飲食店」「美容室」「老人ホーム」

(2) 給水装置工事配管図		
訂正は差替え（修正液、砂消しゴム等は不可）		
☐	21.	審査に✓
☐	22.	水栓番号（※改造のみ）・申込者・給水装置所在地・指定給水装置工事事業者を記入
☐	23.	方位の向きを正しく記入（※原則北が上、許容範囲は東西45度ずつ）
☐	24.	道路の形状は公図、現況と相違なく記入し、幅員・側溝・側溝幅・歩車道の区別・本管はなれを記入
☐	25.	土地の形は公図、現況と相違なく境界線・境界名を黒実線で記入 （※分筆予定の場合も同様に黒実線で記入） （※建築敷地の分割線がある場合は分割線を黒点線で記入し、“分割線”と記入）
☐	26.	道路後退がある場合は後退幅、後退線を黒実線で記入
☐	27.	隣接道路の全ての配水管を黒一点鎖線で記入 （※取出しする管が連合管の場合は赤点線で記入）
☐	28.	配水管の管種・口径・制水弁・消火栓記号等を黒で記入 （※給水管の管種・口径・記号等は赤で記入）
☐	29.	取出しする道路に上水道管以外の他埋設管・暗渠等がある場合は、名称・埋設深さ・口径・はなれ・配管を点線（赤以外）で記入
☐	30.	配水管（連合管）分岐部から止水栓までの給水管を配水管に対して垂直・直線で記入
☐	31.	新設給水管を赤実線、既設給水管を赤点線で記入
☐	32.	給水管の管種・口径を赤で記入（1次側・2次側・屋内） 給水管の管長を全て赤で記入（1次側・2次側）
☐	33.	止水栓から左右の近い方の境界線までのはなれを黒で記入 （※給水管と境界線が平行でない場合は、敷地内に入る箇所の給水管と境界線のはなれも記入）
☐	34.	配水管（連合管）分岐部から止水栓までの延長線上にメーターを設置しない場合は、止水栓上流側の境界からメーターまでのはなれを黒で記入
☐	35.	既存給水管との切離しが必要となる場合は、廃止管を黒で記入し、切離し箇所・方法を記入 （※“チーズを直管にする”、“チーズをエルボにする”など）
☐	36.	敷地延長部分に給水管を布設する場合は、敷地延長部分の幅・給水管との離れを黒で記入
☐	37.	道路を縦断する場合、他埋設物を横断する場合は、給水管の深さを記入
☐	38.	縦断で給水管を布設する場合、他給水管（同穴で布設する給水管を含む。）を赤点線、配水管を黒一点鎖線、他埋設物を点線（赤以外）で記入し、他の埋設物・境界・構造物とのはなれを黒で記入
☐	39.	メーター器の1次側で使用する継手・メーターボックスユニット等の材料名を全て赤で記入 （※給水装置工事施工基準「給水装置等表示一覧」のとおり）
☐	40.	申請地内の給水管と境界線・建物・構造物・他埋設管等とのはなれを黒で記入
☐	41.	建物の間取り・平面図名（平屋平面図・1階平面図・2階平面図）を黒で記入 （※既存建物がある場合は“既存建物”・“新築建物”も記入）
☐	42.	床下（天井）点検口の名称・記号を青で記入
☐	43.	水栓名、バルブ類の材料名・記号を赤で記入
☐	44.	2階立上り手前のバルブ・立上り高さ（“2階へ+0.0m”）・“1階より”を赤で記入
☐	45.	敷地内に自家水の配管がある場合は、自家水のポンプ記号・配管・水栓名を青で記入
☐	46.	他人の土地を一部使用する場合は、その土地の地番を図面上に記入
☐	47.	連合管から分岐する場合は、連合管の詳細図を記入

		集合住宅・貸店舗等の場合
☐	48.	敷地・建物の立面略図、部屋番号を記入し、申請の部屋に赤斜線を引く
☐	49.	給水主管を親の配管図は赤実線、子の配管図は赤点線で記入し、深さを赤で記入
☐	50.	給水主管をエルボ等で曲げる場合は、曲げる部分に現地で使用する杭またはピンを記入
☐	51.	各メーター器付近（止水栓の先）に申請の部屋番号を赤で、他の部屋番号を黒で記入
☐	52.	各部屋の平面図内に申請の部屋番号を赤で、他の部屋番号を黒で記入
		案内図
☐	53.	主たる道路、建物、目標物を明示し、申請地を赤で記入 （※北が上、分譲地の場合は、区画名を全て記入）
		メーターオフセット
☐	54.	空欄（※竣工後に記入する。）
		給水材料（一次側：公道～メーター）
		訂正は二重線で行う。（修正液、砂消しゴム等は不可）
☐	55.	メーター器1次側の新設材料を全て記入
☐	56.	止水栓筐は、止水栓がφ20、25の場合、車道ではT-14以上(市章入り)、歩道又は自動車等が進入できる場所ではT-8以上、それ以外の場所ではT-2以上のものを使用し、φ30以上の場合は、T-8以上(市章入り)を使用
☐	57.	ポリエチレン管は、口径・HPPE（JIS外径）またはPP（JIS K 6762）を記入
☐	58.	管種に合った継手等を記入
		（3）取出状況図
		訂正は差替え（修正液、砂消しゴム等は不可）
☐	59.	水栓番号（※改造のみ）・申込者・給水装置所在地・指定給水装置工事事業者を記入
		平面図
☐	60.	隣接道路、記入してある道路等に埋設されている配水管を黒一点鎖線で全て記入 配水管の管種・口径・制水弁・消火栓記号を全て記入
☐	61.	配水管分岐部から制水弁または消火栓までと、配水管分岐部から止水栓の中心までの計画距離を赤で記入 （※制水弁、消火栓が100m以内でない場合、配水管が直線でない場合、連合管分岐の場合は、配水管（連合管）分岐部から申請地の境界杭または下水マンホールの中心までの直線距離（2ヶ所以上）を赤で記入） （※改造で分水止めがある場合は、分水止め箇所からの計画距離を記入）
☐	62.	申請地を赤で囲み、引込み口径を赤で記入
☐	63.	隣地名、付近の建築物、目標物等を黒で記入 （※分譲地の場合は全ての区画・名称を記入）
		立面図
☐	64.	記入例のとおり設計の立面図を記入 配水管（連合管）分岐部から立上りまで、立上り、立上りから宅内止水栓の中心までの計画延長・フレキシブル継手（口径・長さ）・管種・口径・給水管深さを記入
		断面図
☐	65.	配水管（連合管）の管種・口径・深さ、給水管の引込み線・管種・口径・深さ、道路の配水管位置・側溝幅・後退幅等（※ある場合）の計画値を記載例のとおり記入

		(4) 水道使用申込書
		訂正は二重線で行う。(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	66.	記入日・水栓番号(※改造のみ)・水栓所在地・水道使用者区分✓・住所・フリガナ・氏名・電話番号・書類(納付書等)の送付先区分✓・その他の場合の住所を記入
		(5) 工事確認書
		訂正は二重線で行う。(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	67.	記載例のとおり記入
		(6) 公図の写し
		訂正は差替え(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	68.	申請地を赤で囲み、地番に赤下線を引く (※登記、測量等の有資格者が転記したものは、資格名・氏名・印・確認日を記載する)
		(7) 道路使用許可証(公道工事の場合)
		訂正は差替え(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	69.	工事箇所は相違なく許可を得ているか。
		(8) 道路占用等許可書・許可図面の写し(公道工事の場合)
		訂正は差替え(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	70.	配管図等と相違なく許可を得ているか。
		(9) 工事施工書(監督用)(公道工事の場合)
		訂正は差替え(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	71.	水栓番号(※改造のみ)・申込者・給水装置所在地・指定給水装置工事事業者を記入
☐	72.	隣接道路、記入してある道路等に埋設されている配水管を黒一点鎖線で全て記入 配水管の管種・口径・制水弁・消火栓記号を全て記入
☐	73.	配水管分岐部から制水弁または消火栓までと、配水管分岐部から止水栓の中心までの距離の寸法引出し線を赤で記入 (※制水弁、消火栓が100m以内でない場合、配水管が直線でない場合、連合管分岐の場合は、配水管(連合管)分岐部から申請地の境界杭または下水マンホールの中心までの直線距離の寸法引出し線(2ヶ所以上)を赤で記入) (※改造で同穴の分水止めがある場合は、分水止め箇所からの距離の寸法引出し線を記入し、別穴の分水止めがある場合は、別途分水止め用の工事施工書を用意し、分水止めからの距離の寸法引き出し線を記入)
☐	74.	申請地を赤で囲み、引込み口径を赤で記入
☐	75.	隣地名、付近の建築物、目標物等を黒で記入 (※分譲地の場合は全ての区画・名称を記入)
		(10) 水理計算確認書(該当の場合)
		訂正は二重線で行う。(修正液、砂消しゴム等は不可)
☐	76.	工事場所、給水装置工事申込者、部屋番号・区画番号、給水方式を記入
☐	77.	計画同時使用水量、計画1日使用水量を記入
☐	78.	水理計算を行い、A、B、C、Dを記入
☐	79.	水理計算確認者(給水装置工事主任技術者)、指定給水装置工事事業者を記入
☐	80.	給水装置工事申込者本人の記入日、住所、氏名を自署で記入、法人は押印

給水取出し工事写真チェックシート

工事写真は取出し工事完了後5日以内に工事施工書と一緒に提出

各写真の説明(埋戻しは、埋戻した層ごとの厚さと深さを表示した図)を記入

種類	内容
☐ 表紙	・受付番号、工事場所、工期、工事施工者名(押印不要)を記入
着工前の工事箇所の全景 ☐ 起点方向 ☐ 終点方向	・看板、各種許可書、保安施設を写す。
☐ 各種許可書	・道路使用許可書・道路占用許可書・通行制限(片側通行止)等を撮る。 ※許可証等の種類が分かる大きさを正面から撮る。
☐ 交通誘導員	
☐ 残土処理	・トラックに積み込んでいる状況を撮る。 ・現地処理の時は、その状況が分かるように撮る。
分水栓取り付け及び取出し ☐ 配水管の埋設深度 ☐ トルクレンチを使用してサドル分水栓の取付け作業をしている状況 ☐ サドル分水栓取付け状態 ☐ 穿孔機を分水栓に取付た状態 ☐ 乙止水栓から捨水 ☐ 穿孔片 (配水管がDIP等の場合) ☐ 密着コア挿入前 ☐ 密着コア挿入状況 ☐ 密着コア挿入後 (分水止めがある場合) ☐ 止める前 ☐ 止めた後	・配水管上に垂直にスタッフ・小黒板を入れて撮る。 (SKXチーズを使用する場合や分水止めをする場合も同様) ・トルクレンチを使用していることが分かるように撮る。 ※サドル分水栓をジョイント等より有効長で30cm以上離して取付ける場合(同一小穴による取出しも含む)はスタッフ等で離れが分かるように撮る。 ・穿孔時及び乙止水栓からの捨水状況を撮る。 ・穿孔後、穿孔機ホルダーから穿孔片を取り出して、小黒板を入れて撮る。 ・配水管がDIP・CIP・SGPの場合は、密着コア挿入状況と密着コア挿入前後の挿入機を撮る。 ・分水止めがある場合は止める前、止めた後を撮る。
☐ 布設した給水管の埋設深度	・布設した給水管については、開削、推進、道路横断、道路縦断全ての場合において埋設深度の分かるスタッフ等を使った写真を撮る。
(給水管同士や他の地下埋設物との離隔が近い場合) ☐ 離隔が分かる写真	・スタッフ・小黒板を入れて撮る。
☐ 乙止水栓設置状況 ☐ 乙止水栓筐設置状況	・乙止水栓にフレキシブル継手を接続した状態で撮る。 ・乙止水栓筐を設置した状態で撮る。
☐ 使用した金属製の継手、EFスクリュージョイントの設置状況(全部)	・道路縦断で給水管を布設した場合は全て撮る。

種類	内容
防食フィルム巻き立て ☐ サドル分水栓と配水管全体を防食フィルムで巻いた状態 ☐ 使用したSKXチーズ・SKXエルボ・金属製の継手・EFスクリュージョイントを防食フィルムで巻いた状態 (分水止めがある場合) ☐ 分水止めをしたサドル分水栓を防食フィルムで巻いた状態	・付属の紐で巻き密着させる。 ・小黒板を入れる。
埋戻し ☐ 洗砂埋戻し(転圧状況) ☐ 洗砂埋戻し(転圧後) ☐ 埋設シート設置 ☐ 砕石2層目以降埋戻し(転圧状況) ☐ 砕石埋戻し2層目以降(転圧後) ☐ 粒調砕石埋戻し(転圧状況) ☐ 粒調砕石埋戻し(転圧後) (掘削深度が1.5mを超える場合) ☐ 土留め設置 (道路を縦横断方向に開削する場合) ☐ 埋戻しの写真 (道路を横断方向に開削する場合) ☐ 埋戻しの写真 (複数箇所を掘削した場合) ☐ 埋戻しの写真 (分水止めをした場合) ☐ 埋戻しの写真 ☐ 乳剤散布後 ☐ 仮復旧完成写真 ☐ 路側線・センターライン等を復旧した後の写真 ☐ 復旧箇所の縦・横にスタッフ又は帯広テープを当てた写真 ☐ 道路に指定工事業者番号を青色でペイントした後の写真	・管の深さが0.9mより深い場合は管上0.3m、管の深さが0.9～0.75mの場合は深さ0.6m、管の深さが0.75mより浅い場合は管上0.15mまで埋戻す。 ・タコ・プレート等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。 ・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。 ・管上0.3m以上0.5m未満の範囲で深い層の上に設置し、スタッフ・小黒板を入れて撮る。 ・厚さ0.2m以下ごとに転圧状況及び転圧後を撮る。 ・タンパ・ランマ等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。 ・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。 ・タンパ・ランマ等で転圧している状況を小黒板を入れて撮る。 ・転圧後スタッフ・小黒板を入れて撮る。 ・民地内でも同様に撮る。 ・開削延長距離が40m以上の時は40m毎に、40m以下の時は2箇所以上適正な位置で取出し箇所と同様に撮る。(例:0～40mは2箇所、41～80mは3箇所、81～120mは4箇所) ・配水管と布設する給水管の深さが違う場合は、サドル付分水栓を設置した場所と深さの違う位置の2箇所を撮る。 ・全ての小穴の埋戻し状況を取り出し箇所と同様に撮る。 ・取出し箇所と同様に撮る。 ・埋設シートの敷き忘れに注意する。 ・乳剤を散布後の状況を小黒板を入れて撮る。 ・加熱アスファルトで埋戻し・転圧後、既存道路との境目に乳剤で目地をし、その上を砂で養生する。 ・小黒板を入れて撮る。 ※砂利道の場合には、復旧箇所の縦、横にスタッフ又は帯広テープを当て、長さが確認できるようにし、小黒板を入れて撮る。
☐ セーフティマーク又は標示杭	・「セーフティマーク」は道路側溝天端(民地側)に打ち込み小黒板を入れて撮る。(道路側溝がなく地先ブロックがある場所は地先ブロックにセーフティマークを打ち込む) ・セーフティマークが使用できない場合は官民境界の民地側に「標示杭」を打ち込み小黒板を入れて撮る。
☐ 指定工事業者シール	・メーターボックスの蓋の裏側に指定工事業者シールを貼って撮る。

1. 公道取出し
2. 給水主管（アパート・テナント等）
3. 建物内給水管（受水槽・自家水から切り替え）

耐 圧 試 験 報 告 書

年 月 日

（宛先）伊勢崎市長

水道法第25条の10の規定に基づき、下記の通り報告します。

水道法施行令第6条（給水装置の構造及び材質の基準）及び、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令第1条（耐圧に関する基準）により、別紙写真のとおり検査しました。

受 付 年 月 日 年 月 日

受 付 番 号 第 号

耐圧試験検査年月日 年 月 日

検 査 場 所

所 有 者 名

以上の結果、水漏れ、変形、破損その他異常ないことを報告いたします。

指定給水装置

工 事 事 業 者

給水装置工事

主 任 技 術 者

耐圧試験写真チェックシート

・一次側の耐圧テストは穿孔作業を行う前にサドル分水栓からメーターユニットの手前までを一括で検査する

・各写真の説明を記入

種類	内容
☐ 表紙	・1～3のうち該当の番号に○を記入 ・提出日、受付年月日、受付番号、耐圧試験年月日、検査場所、所有者名、工事業者、主任技術者を記入
☐ 全景(加圧前)	・主任技術者が写る ・テストポンプとメーター手前フレキシブル継手を接続した状態で撮影 ・圧力計の値は0MP ※不鮮明な場合は拡大写真を提出 ・小黒板を入れる
☐ テストポンプの 加圧完了直後	・圧力計の値は1.75 MPa ※不鮮明な場合は拡大写真を提出 ・検査時の状況が確認できるように撮る ※ 圧力計だけを写した写真はダメ ・小黒板を入れる
☐ 加圧後1分間経過後	・圧力計の値は1.75 MPaより低くてもよい ・検査時の状況が確認できるように撮影 ※ 圧力計だけを写した写真はダメ ・小黒板を入れる
(加圧後1分間経過後の) ☐ 圧力計の拡大写真	・圧力計の値は1.75 MPaより低くてもよい ・小黒板を入れる
☐ 給水主管からメーターユニット手前までの配管写真 ※集合住宅、貸店舗等のみ	・各棟、部屋の分岐ごとに撮影(給水主管の分岐を含む) ・小黒板を入れる
☐ 「指定工事業者シール」貼付状況	※工事写真に含まれていれば、耐圧試験の写真では提出不要

自主検査調書

受付日	年 月 日	受付番号		水栓番号	
給水装置所在地				申込者氏名	
検査種別及び検査項目		検査の内容			
屋 外	水 道 メーター等	適正な場所（申請と同じ）に設置し、検針、取替に支障がないこと			
		逆付け、片寄りがなく、水平に取付けられていること			
		メーターオフセットは境界杭等を確認し正確に測っていること			
		指定工事事業者シールをメーターボックスの蓋の裏側に貼っていること（新設・改造共）			
	埋 設 深 さ	所定の深さが確保されていること（※止水栓筐の深さは 60 c m 以上必要）			
	管 延 長・位 置	竣工図面と整合していること			
	き ょ う 類	傾きがなく、設置位置が適正であること			
	バルブ、止水栓等	スピンドルの位置がボックスの中心にあり、筐の仕様が設計書と同じであること			
セーフティマーク	セーフティマーク（又は標示杭）が所定の位置に打たれていること（新設・改造共）				
配 管 ・ 給水用具	配 管	延長、給水用具等は配管図と整合していること（位置、用具の種類・数）			
		配水管の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプに直接連結されていないこと			
		給水管の口径、経路、構造等が適切であること			
		水の汚染、破壊、浸食、凍結等を防止するための適切な措置が取られていること			
		逆流防止の為に給水用具の設置、吐水口空間の確保等がなされていること			
		クロスコネクション及びループ配管がなされていないこと			
	接 合	適切に接合されていること			
材 料	性能基準適合品を使用していること				
受 水 槽	吐水口空間の測定	吐水口と越流面等の位置関係が適正であること			
		ウォーターハンマー防止措置等がとられていること			
機 能 検 査		通水した後、各給水用具からそれぞれ放流し、水道メーター経由の確認及び給水用具の吐水量、動作状態などについて確認していること			
耐 圧 試 験		一定の水圧による耐圧試験を行っていること			
水 質 確 認		残留塩素 m g / l			
竣 工 図 の 受 け 渡 し		申込者または所有者に対して竣工図の写しを渡していること			
(宛先)伊勢崎市長 上記のうち該当する項目について自主検査を行い適正であることを確認しました。竣工検査をお願いします。 申込者等に当該給水装置を引き渡した後においても、当該工事が原因の不具合等が発生した場合は責任をもって対応します。 年 月 日 指 定 工 事 事 業 者 名 給水装置工事主任技術者					